

令和7年度 四国支所公開講演会 地域と描く森の未来 木材生産と公益的機能を両立する試み 実施報告

四国支所では、研究成果等の広報・普及を目的として毎年公開講演会を開催しております。

今年度のタイトルは、 地域と描く森の未来 木材生産と公益的機能を両立する試み。

高知県吾川郡いの町を対象に、森林が有する機能のモデル化・地図化を目的としたプロジェクト成果や、滋賀県東近江市の取り組み例を紹介しました。

講演の後、5名の発表者および3名のパネラー計8名で総合討議を行い、未来の森について意見を交わしました。

行政機関、森林組合、民間、一般、関係法人等の方々にご参加いただきました。

ご来場いただいた皆様ありがとうございました。

1. 講演タイトルと講演者

講演1 森林の多面的機能をモデル化するプロジェクト

四国支所 山浦悠一

講演2 私にとって森林の機能はどれが重要？～いの町民を対象としたアンケート調査～

四国支所 垂水亜紀

講演3 地図でわかる、いの町の森のめぐみとこれから

森林総合研究所森林管理研究領域 山田祐亮

講演4 地域の声を森づくりに活かす ワークショップと行政協議の取り組みから

一般財団法人もりとみず基金 立川真悟

講演5 東近江市における新たな森林づくりの取り組み

東近江市農林水産部林業振興課 濱野 智

2. 総合討論

進行役 山浦悠一 四国支所

パネラー 上記講演者

中村太士 北海道大学名誉教授

和田卓己 林野庁森林計画課課長補佐

中岡正樹 いの町森林政策課係長心得

3. 開催日 令和7年11月25日(火)

4. 開催場所 高知会館(高知市)

5. 参加人数 49 名

開催風景

開催挨拶



講演2



講演4



総合討議



講演1



講演3



講演5

